

資料1

単元指導計画・評価計画(全8時間予定)

時	目 標	学習活動	支援()・留意点()	評価の観点(方法)
1 9 月 27 日	いろいろな三角形の中から、辺の長さに着目して仲間分けを通して、二等辺三角形と正三角形を弁別することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・長さの異なる4種類のストローを組み合わせていろいろな三角形を辺の長さに着目して分類する。 ・「二等辺三角形」と「正三角形」の定義を理解する。 ・いろいろな三角形の中から、二等辺三角形と正三角形を弁別することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 向きが違って、形は変わらないことを気付かせるようにする。 ・最初から、辺の長さに着目することを指示せず、児童に気付かせるようにする。 つくった三角形の仲間分けをするときに、3~4人組のグループ活動を取り入れ、協力できるようにする。 仲間分けでは、いろいろな考え方をさせ、色から辺の長さに着目できるようにする。 辺の長さを比べるときは、見た目ではなく、コンパスを使って確かめることよさに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関：辺の長さに着目して、三角形を分類しようとしている。 考：辺の長さに着目して、三角形の性質などを見い出している。 知：二等辺三角形と正三角形の定義を理解している。 (観察・発言・ワークシート)
2 10 月 2 日	コンパスを使って二等辺三角形をかき方方法を考え、いろいろな二等辺三角形をかきことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・底辺が4cmほかの辺が5cmの二等辺三角形のかき方を考える。 ・コンパスと定規を使っていろいろな二等辺三角形をかき。 	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の作図を、定義や性質から見付け出せるようにする。 作図のときは、見通しをもって、かけるようにする。 作図の苦手な児童が多いので、コンパスの扱いについて指導コーナーを特設する。 ・作図のときは、教え合い学習を取り入れ、正確にかけるようにする。 ・作図の確かめには透明シートを使い、すぐに正誤が分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 表：コンパスと定義を用いて二等辺三角形を作図することができる。 知：二等辺三角形の作図の仕方を理解している。 (観察・発言・ワークシート)
3 10 月 3 日	二等辺三角形のかき方から、正三角形をかき方方法を考え、コンパスを使っているいろいろな正三角形をかきことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・3辺が5cmの正三角形のかき方を考える。 ・コンパスと定規を使って正三角形を作図する。 ・円の半径を使った二等辺三角形や正三角形の作図をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の二等辺三角形のかき方や、正三角形の定義や性質から、正三角形のかき方を見付け出せるようにする。 ・作図のときは、教え合い学習を取り入れ、正確にかけるようにする。 ・円を使っても二等辺三角形や正三角形がかけるので、その理由を考えさせる中で、正三角形が二等辺三角形の特別な形であることに気付かせるようにする。 ・作図の確かめには透明シートを使い、すぐに正誤が分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 考：二等辺三角形の作図法をもとにして正三角形の作図の仕方を考えることができる。 表：コンパスと定義を用いて正三角形を作図することができる。 (観察・発言・ワークシート)
4 10 月	角の大きさを知り、角の大きさを比べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・三角定規の角を写して切り取り、角を重ねたりすることから角の大きさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角定規の角を写し取ったり、重ねたりする作業を通して、角の概念を理解させる。 ・いろいろな角を重ねて比べる活動を行い、角の大きさに気付かせると共 	<ul style="list-style-type: none"> 表：角の大きさを重ねて直接比べることができる。 知：角の大きさは辺の長さとの関係が

4 日			に、角を量ととらえられるようにする。 ・角の大きさは、辺の長さに関係がなく、辺の開き具合だけで決まることを理解できるようにする。	ないことを理解している。 (観察・ワークシート)
5 10 月 6 日	二等辺三角形と正三角形の角の性質を理解する。	・二等辺三角形や正三角形を切り取って角を重ねたとき、ちょうど重なると、角の大きさが等しいことを知る。	・二等辺三角形や正三角形を切り取って角を重ねたとき、ちょうど重なると、角の大きさが等しいことに気付かせる。 ・どの角が等しくなるか予想を立ててから重ねさせる。二等辺三角形は2つの角が等しく、正三角形は3つの角がすべて等しいことを確かめさせる。 ・二等辺三角形や正三角形の角をぴったり重ねて折ったとき、できた形のもつ対称的な美しさや面白さに気付かせる。	表：角の大きさを、重ねて直接比べることができる。 知：二等辺三角形と正三角形の角の性質を理解している。 (観察・ワークシート)
6 10 月 10 日	自分の興味で選んだ作業的な活動に進んで取り組むことを通して、図形のもつ美しさに関心をもち、図形の感覚を豊かにすることができる。	<課題別少人数指導> (児童は4種類の中から2種類を選ぶ。) 二等辺三角形または、正三角形を敷き詰める。 正三角形を使って立体をつくる。 折り紙を使って二等辺三角形や正三角形をつくり、それを組み合わせていろいろな図形をつくる。 ジオボードや紙上のドットを使っていろいろな三角形をつくる。	・敷き詰めでは、二等辺三角形と正三角形の両方を用意しておき、いろいろな模様ができるようにする。 ・同じ形を隙間なく敷き詰めることで平面図形がつかれることに気付かせる。 ・正三角形をつなげると正四面体、正八面体、正二十面体がつくれることに気付かせる。 ・折り紙で正三角形や二等辺三角形をつくって切り取り、それを組み合わせ、いろいろな形をつくれるようにする。 ・ジオボードの2点を固定し、1点を動かすことで形が変わることの面白さに気付くことができる。 ・ジオボードでいろいろな三角形をつくったり、紙上の点にかき入れたりできるようにする。 ・円周上に、12の点を打ち、その中から3点を選んで三角形をつくれるようにする。	関：自分でやりたい活動を決めて、進んで取り組むことができる。また、活動の中で図形のもつ美しさや面白さに関心をもち、いろいろな工夫しながら図形づくりを楽しむことができる。(観察・できた作品)
7 10 月 11 日				
8 10 月 13 日	既習事項のまとめをする。	・二等辺三角形や正三角形の問題を解き、学習内容の理解を確認する。 ・今までの学習を振り返る。	・教科書やプリントの問題を解き、今までの学習の理解が確認できるように支援する。 ・学習内容が定着していない児童に対し、個別指導を行う。	知：今までに学習した二等辺三角形や正三角形の既習知識を活用して問題を解いている。 (観察・ノート)